

2022（令和4）年度学校関係者評価報告書

2023（令和5）年5月

学校法人AOI国際学院
AOI国際福祉専門学校

◆令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人A O I 国際学院A O I 国際福祉専門学校は、学校評価に関する関連法令に基づき学校関係者評価委員会を設置し、「令和4年度学校自己点検評価報告書」を基本にした学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

1. 対象期間 2022（令和4）年4月1日～2023（令和5）年3月31日

2. 実施方法

1. 専修学校における学校評価ガイドラインを参考に実施
2. 年度末終了後に評価を実施
3. 評価結果はホームページに掲載

3. 学校関係者委員

氏 名	所 属
高 橋 剛	慶應義塾大学 新川崎タウンキャンパス事務長
大 槻 清 一	社会福祉法人 欣水会 特別養護老人ホーム 滝の園 事務長
齋 藤 良 昭	鶴勝・齋藤駐車場 経営者

4. 自己点検評価項目

以下の11項目について実施

- ◇基準1 : 教育理念・目的・人材育成像
- ◇基準2 : 学校運営
- ◇基準3 : 教育活動
- ◇基準4 : 学修成果
- ◇基準5 : 学生支援

- ◇基準6 : 教育環境
- ◇基準7 : 学生の受け入れ募集
- ◇基準8 : 財務
- ◇基準9 : 法令等の遵守
- ◇基準10 : 社会貢献・地域貢献
- ◇基準11 : 国際交流

5. 評価項目に対する評価基準

適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1

- ・自己評価は適切である。
- ・介護福祉士の養成校として「福祉のこころ」を介護現場で実践できる介護福祉士の養成に努めると言う建学の精神通りの教育がなされている。また、学外に向けての発信もホームページから多言語で適切に行われている。
- ・建学の精神、教育方針（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）も明確であり、ホームページでも多言語で掲載するなど発信方法も入学志望者向けに工夫されている。
- ・建学の理念として、葵会の精神である「治す」と「防ぐ」が定められホームページでは8カ国9言語により公開している。介護業界・高齢社会のニーズに合致した教育であり、益々必要となる分野である。教育理念と整合した運営方針を学生ハンドブックに示し、入学直後のオリエンテーションで説明している。介護職に必要な介護科目が学べるように、教育内容が整備されている。

- ・自己評価は適切である。
- ・HPは見やすく、財務状況等も適切に公表されている。
- ・前年度の課題であった教務・財務等に関する規程が整備されたようであり、柔軟に見直す方針も適切である。
- ・教育理念を基に具体的な事業計画が策定されている。
- ・データをNASで管理し共有化による効率化を図っている。
- ・情報システムの最適化を図る仕組みを確立している。

-
- ・自己評価は適切である。
 - ・教育理念に基づき「介護福祉士学校指定規則」の教育課程編成、実施方針等が策定されている。
 - ・教育理念・育成人材像や社会のニーズを踏まえ、教職員一体となり教育到達レベルを定め、学修時間の確保を明確にしている。
 - ・時間割に介護福祉士としての実践的な実が含まれている。
 - ・当該専門学校は、介護福祉士の国家資格を目指す学科であり、教育目標は明確になっている。
 - ・介護施設での経験豊富な教員を確保し、実体験を通じた人材の教育を行っている。
 - ・この継続した努力が学修成果に結びつくよう、活動内容の不断の点検・改善に引き続き注力することが期待される。
 - ・学生の就職先施設や企業・関係団体との連携を密に取りながら教育活動を行っている。
引き続き教育の質の向上を目指し取り組んで頂きたい。

-
- ・自己評価は適切である。
 - ・就職率100%は創設以来学校を上げて努力した成果だと思う。
 - ・留学生の日本語教育については教職員の皆様のご苦勞を察するが、より一層の努力をお願いします。
 - ・学生の生活環境を把握し、丁寧なコミュニケーションを継続することで、学習意欲と学修成果の向上に結びつけてもらいたい。また、卒業生の活躍を把握することは、在学生の学習意欲向上だけでなく入学志願者数増加に関しても有用だと思われる。
 - ・国家試験合格者増加、試験合格率の向上に取り組んだ成果であり、今後の取り組みの成果に期待したい。

◇基準5 : 学生支援

総合評価

3.9

- ・自己評価は適切である。
- ・支援の体制は整っているため、引き続き学生目線の対応を心掛け、在校生が自分自身の将来像を描けるような方策が重要である。また、このことは、入学予備軍である高校生についても同様である。
- ・経済的支援として、奨学金制度利用のサポート、短期貸付制度を整えている。
学生健康管理の一環として、年1回の健康診断専用車による健康診断実施。
学内貸付制度による生活資金不足の対応、不動産会社の紹介等生活環境全般に支援している。

◇基準6 : 教育環境

総合評価

4.0

- ・自己評価は適切である。
- ・学校施設・設備とも充実しており申し分ない。
- ・学外施設の定期的な点検も継続し、良好な環境の維持に注力することが期待される。
- ・介護福祉士養成施設として十分整備されており、指定規則に基づく設備・教育器具類を整備している。
防災体制は、教職員・在校生全てにヘルメットを整備し、法令に従い点検を実施し、防災管理者2名を配置するなど、防災体制の徹底を図っている。

◇基準7 : 学生の受け入れ募集

総合評価

4.0

- ・自己評価は適切である。
- ・学生募集活動は適正に行われており、教育成果も正確に伝えられている。引き続き、県立・私立高校・在留各国の人々に広報活動を行っていただきたい。
学生納付金は、他校と比較し同等であり、社会通念に照らし合わせても妥当であるといえる。
- ・自己評価を踏まえた改善方策も適切であるが、日本人学生の占める割合については目標値を定め、募集活動の具体策を構築し、教職員全員で共有・実行・点検することが重要だと思われる。

◇基準8 : 財務

総合評価

4.0

- ・自己評価は適切である。
- ・コロナ禍での学生確保、特に外国人留学生確保は大変だとは思いますが、安定した授業料収入確保のために引き続きのご努力をお願いします。
- ・基本金組入前当年度収支差額を健全な数値に保つためにも安定的な入学者数の確保は最重要課題であるので、改善に向けた取り組みの成果に期待する。
- ・収入面においては、学生数を安定して確保できたことにより、次年度繰越支払資金が大幅に増加し収支のバランスはとれている。
- ・財務・会計監査・決算毎に複数の監査人により監査が適正に執行されている。
- ・財務情報公開については、ホームページによる開示を実施、事務室にて閲覧可能。

◇基準9 : 法令等の遵守

総合評価

3.8

- ・自己評価は適切である。
- ・自己点検・評価については、自己評価内容や改善方策を教職員全員で共有することが重要であるので、引き続き適正な取り組みが期待される。
- ・達成状況については、課題点は特にない。

◇基準10 : 社会貢献・地域貢献

総合評価

2.7

- ・自己評価は適切である。
- ・自校について第三者目線で客観的に見た場合、これまで気づかない魅力があることが多い。地域とのコミュニケーションを絶やさず、地域の声が聞こえてくる状況を作っていくことが期待される。
- ・地域イベントはコロナ禍により中止となり、貢献できず。

- ・自己評価は適切である。
- ・留学生の受け入れは、日本語学校との連携により、長期戦略を持ち受入れ等積極的に取り組んでおり期待している。
- ・自己評価点は前年度と変わっていないが、世情に合わせた取り組みが実施されている。
引き続き、学生一人ひとりに寄り添った対応を期待する。
- ・学修成果が国内就職先から高評価を得ているので、自ら考え、体験学習を継続願いたい。